

あっという間に、夏休みも終わり、さあ2学期。  
スタートをうまく滑り出させるためには教室経営が基本ですね。  
雑誌『道徳教育』2011年8月号にこのような文が掲載されていました。

### ～ 教室内の五か条 ～

1. 教室は、楽しく過ごし、思いやりをもって過ごす場でなければなりません。  
他の人を笑いものにしたり、他の人の心を傷つけたり、不愉快な思いをさせたりすることは決して許されません。

I have a right to be Happy and to be treated with compassion in this room.  
This means that no one will laugh at me or hurt my feelings.

2. 教室は、ありのままの自分で生活できる場でなければいけません。  
肌の色が黒いとか白い、太っているとか痩せている、背が高いとか低い、男子とか女子、などの理由で、人を不愉快にさせる言葉を言ったり、仲間はずれにしたり、不公平に接することは決して許されません。

I have a right to be myself in this room. This means that no one will treat me  
Unfairly because I am Black or White ,Fat or Thin ,Tall or Short ,Boy or Girl.

3. 教室は安心して安全に生活できる場でなければいけません。  
人を殴ったり、蹴ったり、押したり、つねったり、傷つけたりすることは決して許されません。

I have a right to be Safe in this room. This means that no one will HIT ME ,  
KICK ME , PUSH ME, PINCH ME or HURT ME.

4. 教室は、ほかの人の発言に耳を傾けたり、自分の発言に耳を傾けてもらえる場です。  
大声を出したり、かん高い声を上げたり、怒鳴ったり、騒いだり、(人の迷惑になる) 行為は決して許されません。

I have a right to Hear and Heard in this room. This means that no one will  
Yell , Scream, Shout or make Loud Noises.

5. 教室は、人を認め合い、尊重する場です。  
自分の考えや意見を自由に表現することを邪魔することは決して許されません。

I have a right to be learn about myself in this room. This means that I will  
be free to express my feelings and opinions without being interrupted or punished.

( 原文(英文)は実際にアメリカの学校に掲示されていたものを視察に行かれた方が持ち帰ったものです。和文は英語科教諭が中学1年生向けに訳したものです。 )